

社会資本総合整備計画 事後評価

人とともに、歴史とともに、やさしく強いまち かしはら

奈良県 橿原市

評価結果のまとめ

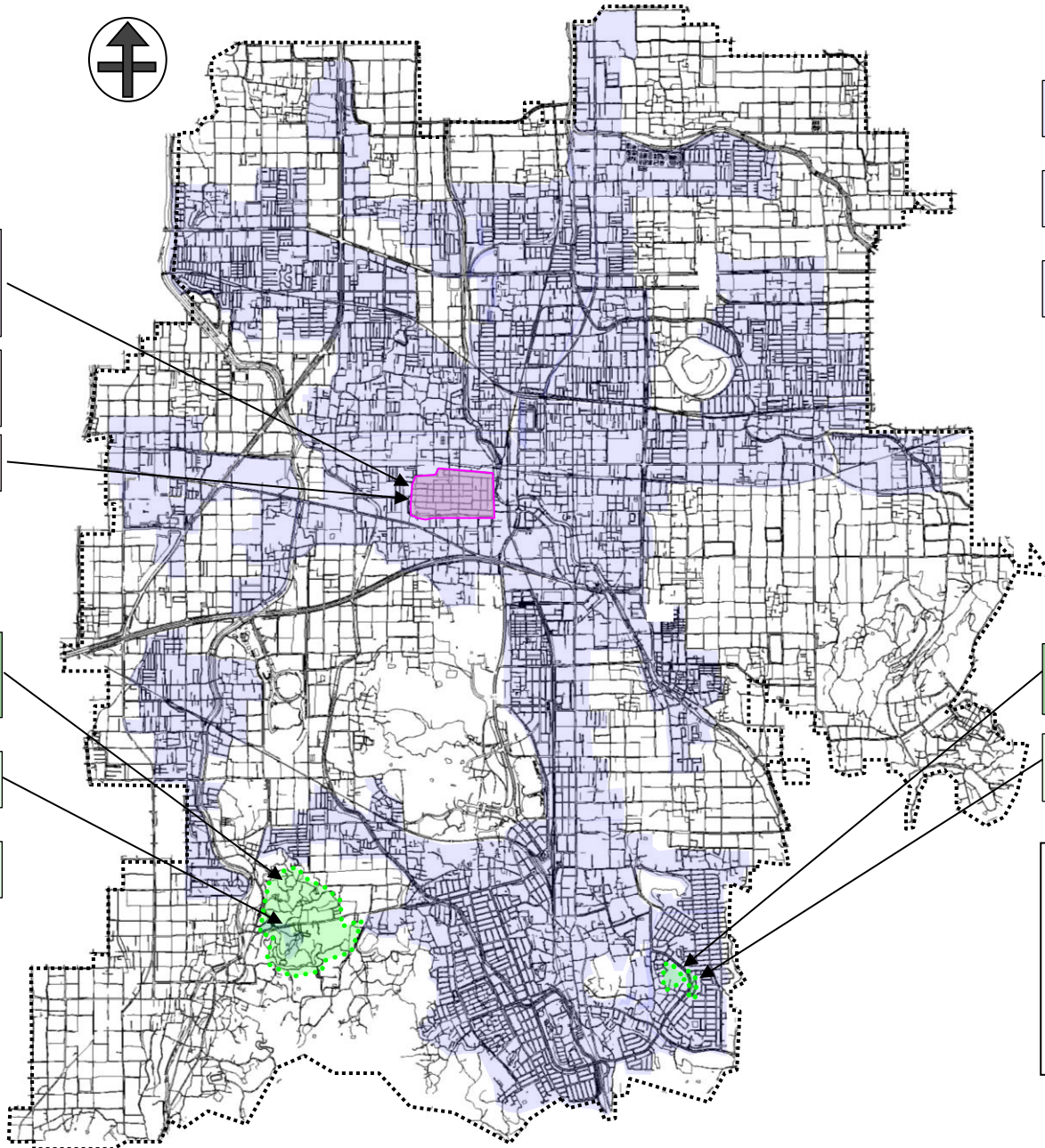
都道府県名	奈良県	市町村名	橿原市	計画期間	平成26年度～平成29年度	全体事業費	4,060,000 千円
計画名	人とともに、歴史とともに、やさしく強いまち かしはら						
計画目標	橿原市が掲げるまちづくりの理念である「人とともに、歴史とともに、やさしく強いまち かしはら」を実現するため、下水道・公園・住環境等の都市基盤整備を計画的に実施するとともに、住民一人ひとりが健康で充実した生活が送れ、「このまちが好きだ」と感じてもらえるようなまちづくりを進める。また、来訪者の方々に対して「もてなし」の心を持って迎え、「何度も訪れたい」と感じてもらえるようなまちづくりを進める。						

1) 事業の実施状況	番号	要素となる事業名	削除・追加した理由		削除・追加による指標等への影響
			削除	追加した理由	
基幹事業	7-A-1	第2処理区 汚水管渠	削除	実施時期を平成30年度以降に延期した為	指標1に影響有り
	12-A-1	植山古墳公園整備事業			
12-A-2	都市公園事業(新沢千塚古墳群公園)				
16-A-1	今井町地区街なみ環境整備事業				
16-A-2	移動等円滑化基本構想策定				
関連社会資本整備事業					
効果促進事業	C-1	第2処理区 汚水管渠(支線)	削除	平成27年度以降の事業を中止(交付対象事業から外れた為)	指標2に影響有り
	C-2	生活排水クリーンアップ推進事業			
	C-3	花いっぱい運動推進事業			
	C-4	植山古墳公園			
	C-5	新沢千塚古墳群公園			
	C-6	観光客増加への魅力向上事業			
	C-7	今井西地区環濠整備事業			
交付期間の変更	当初	平成26年度 ~ 平成29年度	変更	変更無し	

2) 社会資本総合整備計画に記載した数値目標の達成状況	指標	単位	達成度(事後評価時)			目標達成度	達成見込みの有無		所見(効果発現要因等)
			当初現況値	事後目標値	事後評価値		あり	なし	
			H26年当初	H29末	H29.9				
指標1	市民アンケート調査による「住み心地、住みやすさ」の満足度(%)を調査する。 満足度(A-B)＝「満足率」A(「満足」、「やや満足」と答えた人の割合%)－「不満足率」B(「やや不満」、「不満」と答えた人の割合%)	%	73.9%	75.0%	77.5%	○			継続的かつ計画的に各種事業を実施した結果、目標値を達成することができた。しかし、昨年実施した中間評価時に引き続き、市民アンケートの自由意見欄にはまちづくりに対する様々な要望があり、まちづくりの課題を新たに発見することができた。 新たな社会資本総合整備計画を作成する際には、このアンケートで出てきた意見を反映させ、さらなる事業の効率的・効果的な実施に努める必要がある。
指標2	第2処理区の下水道処理人口普及率(%) ＝(処理区域内人口)/(総人口(住民基本台帳人口))×100%	%	72.3%	75.0%	76.7%	○			比較的人口の密集した未整備地区を中心に事業を実施したことで、目標指標を達成することができた。 今後は、事業計画区域を拡大した部分も含め、更に効率的な事業を実施することで、普及率の向上を図る。
指標3	1人あたりの都市公園等面積(m ² /人) ＝都市公園等の供用面積(m ²)/橿原市人口(人)	m ² /人	8.3m ² /人	9.0m ² /人	9.2m ² /人	○			新沢千塚古墳群公園の南群史跡部分の整備(約8.4ha)について、効率的な事業推進を図ったことで、目標を達成することができた。 また、H29年度末には、植山古墳公園の一部の整備が完了することから、一人あたりの都市公園等面積が更に増加する予定である。
指標4	市民アンケート調査による「公園の整備や緑地の推進」の満足度(%) 満足度(A-B)＝「満足率」A(「満足」、「やや満足」と答えた人の割合%)－「不満足率」B(「やや不満」、「不満」と答えた人の割合%)	%	16.1%	25.0%	11.6%	×	●		市民アンケートの結果では、橿原運動公園や新沢千塚古墳群公園など総合公園の整備についての満足度は高かったが、その一方で身近な小規模な公園の整備や公園の維持管理に関しては、中間評価時と変わらず満足度が低い結果となった。 中間評価以降、地元自治会と維持管理に関する意見交換を行うことで、行政だけでなく、住民自身の維持管理に対する意識向上に努めてきているところであるが、その取り組みが住民に浸透していないことが要因と考えられる。今後より一層住民の意識向上を図るため啓発に努めるとともに、市民アンケートで出てきた意見を参考に住民ニーズに沿った公園の整備を図っていく。
指標5	市民アンケート調査による「歴史的街並み及び集落景観の保全」の満足度(%) 満足度(A-B)＝「満足率」A(「満足」、「やや満足」と答えた人の割合%)－「不満足率」B(「やや不満」、「不満」と答えた人の割合%)	%	46.1%	50.0%	43.0%	×	●		事業の進捗に伴い、満足度が増加するを見込んでいたが、市民アンケートの結果、当初現況値を下回る結果となった。 しかし、現在整備中の今井西地区環濠整備事業は今年度末に完了し、今井町への来訪者の駐車場を確保できることや、電線地中化事業の整備、建物所有者に働きかけて実施している修景事業にも積極的・継続的に取り組んでおり、来年度以降には満足度が向上すると考えられる。
指標6	主要施設の来訪者数(千人)	千人	225.0千人	232.5千人	260.3千人	○			市内の主要施設(※)の来訪者数が年々増加傾向であり、今回、目標指標を大幅に上回る結果となった。 今後も主要施設への来訪者数の増加を目指していくため、PR活動を継続的に進め、多くの人が来てもらう仕掛けづくりを積極的に行っていく。

3) 定量的に表現できない定性的な効果発現状況	<p>・環境教育の一環で、平成26年度～平成29年度に出前講座を行ない、延べ40校・2,850名超の児童に簡易水質検査器具を用いた河川水質調査の実験を行い、水質汚濁の現状について学ぶ機会を提供した。また、環境PRイベントも4年間で5回(大型ショッピングセンター2回、奈良県橿原文化会館前広場3回)実施しており、PRブースで見学者約200名に実験器具を用いた水質検査を行うことで、水質向上の意識づけをおこなった。現在大和川の水質は改善傾向にあり、次世代に対するこれらのPR活動を通して、下水道に対する理解度が深まり、持続的な普及につなげることができるものと考えている。</p> <p>・新たに整備した今井西地区環濠において、近隣住民や小学生による自然環境を保存するための植栽活動を行うことで、多世代が交流する機会の創出を図り地域活性化に寄与した。</p>
-------------------------	--

4) 地区の概要



住環境整備事業
16-A-1 今井町地区街なみ環境整備事業
(整備面積 18.1ha)

C-6 観光客増加への魅力向上事業
(観光道標)

C-7 今井西地区環濠整備事業

都市公園等事業
12-A-2 都市公園事業
(新沢千塚古墳群公園)

C-5 新沢千塚古墳群公園

C-3 花いっぱい運動推進事業

下水道事業
7-A-1 第2処理区 污水管渠

C-1 第2処理区 污水管渠(支線)

C-2 生活排水クリーンアップ推進事業

都市公園等事業
12-A-1 植山古墳公園整備事業

C-4 植山古墳公園
(公園案内板等整備)

凡 例	
行政区域界
A7	下水道事業
A12	都市公園事業
A16	住環境整備事業

5) 総合所見

国費が十分に配分されていない状況ではあるが、コスト縮減の取り組みや費用対効果の高い事業の整備に先行して着手するなど効率的な事業展開を図った結果、主な事業の関連指標について目標を達成することができた。

6) 今後の方策

- ・本計画で実施している各事業に関する情報周知の活動(事前説明会・広報誌の活用・ホームページの活用)を継続的に行うことで、事業の必要性について、より一層市民に理解を深めてもらう。
- ・行政だけが事業を実施するのではなく、産学官民連携により市民ニーズに即して事業を実施していくことが必要であり、各種団体との協働で事業を実施することが事業効果の持続につながる。と考える。
- ・施設整備などの新たなハード面の整備だけでなく、既存施設を有効に活用し、市民サービスの向上を図っていくなどのソフト面を充実させ、事業を実施していくことが求められる。